

かごしまよかとこ巡り  
旅ガラスのごとく広い県土を飛び回り、「おおすみ観光100選」に掲載された中から、お薦めの観光スポットを紹介いたします。

# 戦時中の記憶を訪ねる 大隅の戦跡をたどる旅

太平洋戦争末期。  
本土最南端の大隅半島には、迫り来る本土決戦に備え、おびたしい数の軍事施設が造られました。  
60余年前の辛く悲しい出来事が記憶から薄れゆく今、平和の尊さを語り継ぐため戦争の痕跡をたどります。

申良海軍航空基地 ちかごうでんしん 地下壕電信司令室跡  
※私有地のため見学の際は事前の連絡が必要です。



昭和16年12月8日未明、日本海軍がアメリカの真珠湾にあった基地などを攻撃したことに端を発した太平洋戦争は、昭和17年6月のミッドウェー海戦の敗北をきっかけに攻勢から守勢に転じました。昭和20年4月にはアメリカ軍が沖縄に上陸し、本土侵攻は目前に迫っていました。

日本軍部は徹底抗戦を選択し、鹿児島県はアメリカ軍の本土侵攻を食い止める主戦場の一つとされました。なかでも志布志湾からの侵攻に備え、航空基地や地下壕、砲台など数多くの軍事施設が造られた大隅半島は、それ自体が一つの要塞と化したのです。



掩体壕  
航空機を空爆から守るために設けられたコンクリート製の格納庫です。  
※見学には事前に許可申請が必要です。

【所在地】 鹿屋市西原3丁目11-2  
【開館時間】 午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)  
【休館日】 12月29日～1月3日

海上自衛隊 鹿屋航空基地史料館 ☎0994(42)0233

## 1 鹿屋海軍航空基地 鹿屋市西原

本土決戦に備えた昭和20年、鹿屋基地には陸海軍の全航空部隊を統合する第五航空艦隊司令部が設置されました。沖縄戦での特攻作戦の中心地となり、70部隊711機が南の海へと飛び立って行きました。出撃死者数は908人にのぼり、特攻基地の中でも最も多くの命が失われています。

現在、跡地は海上自衛隊鹿屋航空基地となっていて、掩体壕や空襲を受けた弾痕が残っています。基地内の鹿屋航空基地史料館には、特攻隊員の遺影や遺物などが展示され、当時の様子を物語っています。



神風特別攻撃隊として戦場へ飛び立った零式戦闘機の復元モデル





二連式トーチカ※跡  
中への立ち入りは禁じられています。  
※トーチカ:鉄筋コンクリート製の防御  
陣地を指す軍事用語



魚雷発射基地跡  
終戦のためこの基地から実際に発  
射することはありませんでした。

### 3 内之浦臨時要塞 肝付町内之浦

志布志湾は本土決戦の第一候補に想定され、迎撃のための軍事施設が数多く造られました。最も大きい要塞があったといわれている内之浦地区には、砲台や弾薬庫などが残されています。海岸には岩場を掘削して作った魚雷発射基地もあり、当時はレールも敷設されていたといわれています。

肝付町企画調整課 ☎0994(65)2511



申良平和公園に建立された申良海軍航空基地出撃戦没者慰霊塔

鹿屋市商工観光課 ☎0994(31)1121

### 2 申良海軍航空基地

鹿屋市申良町有里

申良海軍航空基地は、約5,000人の予科練習生が航空機の整備・搭乗・通信の猛特訓を受けていた教育航空隊の基地でしたが、昭和20年3月1日からは特別攻撃隊の基地となり、363人が出撃しています。

機上の特攻隊員と連絡を取るための地下壕電信司令室が個人宅の敷地に残されており、コンクリート打ち放しの無機質な空間が戦時中の緊迫した状況を思わせます。

### 4 岩川海軍航空隊基地 曾於市大隅町



通信司令部壕跡  
現在壕の地上には公民館が建っていて、中に入ることはできません。

岩川基地は、夜間戦闘部隊として編成された芙蓉部隊の最後の出撃地です。滑走路は芝生、滑走で露出した土は樹木や草で偽装されるなど昼間は航空基地であることがわからないよう徹底的にカムフラージュされ、終戦までアメリカ軍に見えませんでした。

通信司令部に電力を供給するために使われていた発電所用壕の跡が、私有地の地下に残されています。

※私有地のため見学の際は事前の連絡が必要です。

曾於市経済課 ☎0986(76)1111

### 「おすすめ観光100選」スポット



( )内は本のページ番号

- 1 鹿屋海軍航空基地 (おすすめ観光100選 92)
- 2 申良海軍航空基地 (おすすめ観光100選 94)
- 3 内之浦臨時要塞 (おすすめ観光100選 95)
- 4 岩川海軍航空隊基地 (おすすめ観光100選 95)
- 5 かのや黒豚カレー (おすすめ観光100選 35)



※開館時間や休館日などは、おでかけ前に各施設にお問い合わせください。

【芙蓉部隊】  
太平洋戦争末期に海軍が結成した飛行部隊。特攻作戦ではなく夜間戦闘を主張し、航空機確保にも独自の手法を用いた終戦まで戦力の衰えることのない精鋭部隊でした。



### 永遠の0 -12月21日全国公開-

© 2013「永遠の0」製作委員会

奄美大島でロケが行われたほか、原作である百田尚樹氏の同名小説では鹿屋海軍航空基地や鹿屋航空基地史料館などが舞台として登場する鹿児島と縁が深い作品です。



© 百田尚樹/太田出版 講談社文庫

### 5 かのや黒豚カレー

海軍航空隊で食されていたカレーにちなみ、大隅産の食材をふんだんに使用したご当地メニューとして生まれました。お店ごとにこだわりのある自慢の逸品です。

お土産には、零戦がデザインされたレトロなパッケージの鹿屋海軍航空カレーがおすすめです。



#### -----かのや黒豚カレーが食べられるお店-----

- 鹿屋市観光物産総合センター(鹿屋航空基地史料館隣)  
鹿児島市西原3-11-1 ☎0994(41)6111
- かのや創作料理 MOZET(もぜ)  
鹿屋市大手町1-1-1103 リナシティかのや1F ☎0994(36)0010
- 志満八(しまはち)  
鹿屋市寿7-8-30-1 ☎0994(43)1447
- ぱらの花束(鹿屋市役所地下レストラン)  
鹿屋市共栄町20-1 ☎0994(43)2111
- かのやばら園レストラン「ローズダイナー」  
鹿屋市浜田町1250 ☎0994(41)8732